



秋田市内を7つのエリアに分け、よりすぐりの景観を紹介します。



Information 秋田市おすすめ情報サイト・SNS

秋田市公式 Instagram @akitacity_official #findakitacity



秋田市観光案内所 アキタタッチ (Akita City Tourist Information Akita Touchi)

羽州街道ガイドブック 『あきた羽州街道 時を超えた散歩道』

秋田市景観マップ 発行日 令和4年3月

※掲載のデータは2022年3月時点のもの。発行後に変更になっている場合がございます。

秋田市景観マップ | Akita city Landscape Map

雄和地域

県内最大の河川である雄物川が地域の中央部を流れ、周辺に農地や山林が広がっています。



秋田市景観マップって? 秋田市の景観資源 (風景、眺め、まちなみなど) を後世に残すため、各地域の景観資源を再確認しながら新たな景観資源を発見していきました。

雄和地域 | Yuwa Area



2 黒瀬橋から見える雄物川

橋の上から蛇行する川筋と河岸の緑地が展望できる。黒瀬橋の架かる雄和下黒瀬は、市内の南西部に位置しており、森林や田畑が多く見られ、雄物川が流れる地域となっている。



3 白根館跡ふもとの桜並木

雄物川河岸の山頂に永正年間 (1504 ~ 1521年) 白華城主の配下として、白根七郎昌吉が城郭を構えた。景勝地として桜が植樹され、美しい景観をつくっている。



4 種沢カヌー船着場

雄物川全川に整備されているカヌー船着場の1つで、雄物川中流域に位置する船着場。河岸の木陰の先に空と水面が広がる。



5 竹の花公園

雄物川にかかる協雄大橋のそばにあり、バーベキューなどを楽しむことができる。近傍には市の天然記念物に指定されている竹の花の一本杉や雄和新波野球場がある。

いつもの場所、知らない景色に会いに行く。



6 平尾島

広がる水田の辺縁にどっしりとした木造の農家が見え、農村の原風景を留めている平尾島地区。建久年間 (1190 ~ 1199年) 源義経の戦死後、家臣の熊谷太郎の四男兼秋がこの地に居住し、平尾島式部太夫と称して、平尾島城を築いたことが地名の由来といわれている。



7 水沢集落

雄物川にかかる水沢橋を渡ったところに位置し、東に八幡神社、西に結墓に囲まれた集落で、昔ながらの農家建築が見える。「結墓」と呼ばれるお墓は、この集落の「伊藤家」のお墓で、本家・分家のすべての人が埋葬される。3段の石垣になっており、不思議な形のお墓である。



8 新波商店街

雄物川沿いの川港町であった大正寺地区の商店街で、町家風の商店が数軒残っている。食料品、文房具、婦人衣料店、理容室等が立地しており、地域住民にとって欠かせない、地域に愛されている商店街であり、大正寺おけさまつりの会場にもなっている。



9 街道の松

旧道沿いに立っており、見事な枝振りが、江戸時代の街道の雰囲気や今に伝える。文政年間 (1818年 ~ 1831年) に、相川の徳右衛門家ゆかりの正治郎氏の篤志によって、五穀豊穡と行人の安全を祈念し植えられたものと伝えられている。当時は、道路の両側に数十本あったとされる。

秋田市景観マップ | Akita city Landscape Map



10 新波神社

森林を背景にそびえる真っ赤な鳥居が神聖な雰囲気醸し出している。重い屋根を支える8体の力士像と、2体の竜、これらの彫刻は一見の価値がある。平成16年 (2004年) に拝殿が国の登録有形文化財に登録されている。



11 秋田空港

緑に囲まれ空に向けて開かれた滑走路が地域のランドマークとなっている。夜の空港の滑走路は、誘導灯がイルミネーションのように綺麗で、美しい夜景をつくりだしている。



※この地図は、国土院発行の電子地形図を使用しています。

雄和地域 | Yuwa Area



12 秋田国際ダリア園

世界14カ国約700品種ものダリアが咲く秋田国際ダリア園。秋田県文化功労者でダリア育種家の鷺澤氏が世話をし、見頃を迎える9月下旬から10月には、色とりどりの美しいダリアが一面に咲き誇る。



13 秋田県農業試験場

雄物川が運ぶ土が堆積してできた河岸の平地に、角張っている、シンボリックで現代的な建築物がそびえる。明治24年 (1891年) に創設された農業試験場は、秋田市仁井田などの移転を経て、平成12年に現在の場所に建設された。

いつもの場所、知らない景色に会いに行く。



14 長者山から見える風景

木々に囲まれた県道9号を一直線に走ると、小高い丘の上から、山並みや田園、遠くの市街地の風景を望むことができる。



15 高尾山

雄和地区の中央西部、秋田平野の南にそびえる標高380mの山で雄和地区のシンボルとして親しまれている。景観に優れ、男鹿半島、鳥海山、日本海などを一望でき風光明媚。

【景観要素の分類】 自然景観 住宅地景観 業務地景観 拠点景観 歴史的景観 眺望景観